

若手会員の会 活動報告

<http://jweld.jp/welnet/index.html>

(若手会員の会からのお知らせはホームページにも掲載しています)

平成 31 年度春季全国大会イブニングフォーラム開催報告

若手会員の会運営委員会 委員 松田 朋己 (大阪大学)
瀧田 敦子 (秋田県産業技術センター)
本間 祐太 (日本製鋼所)
鳥形 啓輔 (IHI)

Report of WELNET Evening Forum at JWS National Meeting in Spring 2019

4月18日、平成31年度春季全国大会において若手会員の会イブニングフォーラムが開催されました。今回は日本溶接協会ともコラボレーションし、「大学・中立機関からの研究シーズ、企業からのニーズ紹介」について、企業・大学の若手・中堅研究者の方々にご講演頂きました。

プログラム:

17:00 開会の挨拶 溶接学会若手会員の会 委員長

大阪大学 荻野 陽輔 氏

17:05 講演(司会 副委員長 大阪大学 庄司 博人 氏)

大阪大学 荻野 陽輔 氏

「超高効率溶接プロセスに向けたシミュレーションとモニタリング」

住友重機械工業株式会社 笠野 和輝 氏

「住友重機械のものづくりにおける溶接・接合技術開発の位置づけと今後の展望」

岐阜大学 木下 幸治 氏 (*)

「岐阜大学(土木系)の溶接部に関する研究紹介」

広島大学 田中 智行 氏 (*)

「船舶海洋工学分野での溶接構造物の強度評価に関する研究紹介」

長岡工業高等専門学校 宮崎 靖大 氏 (*)

「高性能土木鋼構造物の強度特性」

物質・材料研究機構 北野 萌一 氏

「機械学習を活用した溶接現象の整理と知識抽出」

秋田県産業技術センター 瀧田 敦子 氏

「S45C 板材のレーザ焼入れ特性」

株式会社 IHI 遠藤 寛季 氏

「IHIにおける最近の溶接・接合トピックス」

福井大学 三浦 拓也 氏

「摩擦攪拌現象を利用した接合・成形技術」

株式会社日本製鋼所 本間 祐太 氏

「クラッド鋼管の製造とその溶接施工について」

大阪大学 松田 朋己 氏

「酸化物分解反応を利用した金属-セラミックス接合プロセス」

18:55 閉会のあいさつ 委員長 大阪大学 荻野 陽輔 氏

((*)は溶接協会「次世代を担う研究者助成対象者」)

荻野委員長によるフォーラムの趣旨説明に始まり、大学、中立機関および企業の11人の講演者に7分程度のご講演を行って頂きました。研究シーズ紹介では自己紹介や研究内容、今後の意気込みなど、研究ニーズ

紹介では現在の研究内容と今後発展させるために必要なニーズといった紹介がなされました。

例年よりも短時間で講演数の多いフォーラムとなりましたので、まじめな話が主体的であったり談笑交じりのトークであったりと、一般講演に比べるとぎくばらんな内容が盛り込まれた講演になりました。『日本溶接協会「次世代を担う研究者助成事業」成果報告』において深い研究内容をご講演いただいた先生方にもご参加頂き、とても軽快にご講演頂きました。このような雰囲気でのフォーラムであったためか、参加者アンケートには、「各研究者が取り組んでいる内容を気軽に雰囲気で広く知ることが出来た」と、肯定的な意見が数多くありました。産学の中堅・若手研究者がお互いを知り合うという目的の一つを達成できたと考えま

すし、今後より発展性のある連携が広がることが期待できますので、このような取り組みが続けば良いと感じました。

講演後には、参加者全員で集合写真を撮影し、本イベントフォーラムは無事に終了となりました。その後の交流会におきましても、共同研究に繋がるような込み入った内容から普段の研究に対する話題などに触れ、この機会を生かしてメンバー間の親交を深めることができました。

最後に、今回のフォーラムは38名もの多くの方々にご参加頂き、盛況の内に終わることができました。講演を快くお引き受け下さいました11名の講師の皆様方に心より御礼申し上げますとともに、ご参加者の皆様にも厚く御礼を申し上げます。



写真1 笠野氏のご講演



写真4 宮寄氏のご講演



写真2 木下氏のご講演



写真5 遠藤氏のご講演



写真3 田中氏のご講演



写真6 フォーラム終了後の集合写真